

一般質問通告書

No. 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 29 年 2 月 15 日
東村山市議会議長 様

議席番号 9 番
質問者 渡辺 英子

記

番号	質問の項目と要旨
1	<p data-bbox="236 846 1294 891">世界に開かれた東村山へ 教育機会は保障されているか。</p> <p data-bbox="236 925 448 958">(1)現状の確認</p> <ul data-bbox="236 972 1326 1104" style="list-style-type: none">①住民基本台帳で見る東村山市在住の外国人人口の直近 3 年間の推移を伺う。②この外国人人口のうち、義務教育年齢の児童・生徒の人数を伺う。③不登校や登校の課題を抱える児童・生徒のうち、外国人の割合を伺う。 <p data-bbox="236 1167 675 1200">(2)これまでの取り組みについて</p> <ul data-bbox="236 1214 1422 1536" style="list-style-type: none">①外国人の児童・生徒に特有な課題としてどのようなものがあるか。②①に対するサポートにはどのような取り組みがあるか。③回田小で行われている日本語教室に参加する児童・生徒の人数、また頻度、内容を伺う。④市民活動で行われている子ども日本語教室に参加している児童・生徒の人数、内容や教師の方へのサポートについて(事前研修やブラッシュアップ、報酬など)を伺う。⑤当市の外国人の児童・生徒を取り巻く地域環境について、見解を伺う。 <p data-bbox="236 1597 647 1630">(3)東村山の多文化共生教育</p> <ul data-bbox="236 1644 1230 1776" style="list-style-type: none">①多文化共生教育の当市の取り組みについて伺う。②上記(2)-④の市民活動と教育委員会や市の活動は連携されているか。③当市における多文化共生教育の課題を伺う。 <p data-bbox="236 1839 1385 1872">(4)これからの東村山市の多文化共生教育の方向性について、市長と教育長に伺う。</p>

番号	質問の項目と要旨
2	世界に開かれた東村山へ 公共施設の多言語標示について
	<p>事前キャンプの招へい及び青少年スポーツ交流のために訪中の動きなど3年後に迫ったオリンピック・パラリンピックへの取り組みも現実味を帯びてきている。訪日客も順調に増加していることを受け、2020に向け、東村山の国際化対応について再度、伺う。</p> <p>(1)現状について</p> <p>①現在、市役所窓口の外国語対応の新たな工夫や課題を伺う。</p> <p>②デジタルサイネージ、HPなどの外国語対応は行われているか。</p> <p>(2)多言語標示を進める必要性について</p> <p>①公共施設において多言語での標示が必要だと認識している箇所を伺う。</p> <p>②今後、どのように進めていくのか。</p> <p>(3)公共施設の多言語標示が市民に与える影響について、市長の考えを問う。</p>